# 一 般 質 問 発 言 通 告 表

向日市議会 令和３年第１回定例会

令和３年３月８日

| 質問順 | 会派名<br>氏名 | 質問事項（要旨） |
|---|---|---|
| 1 | 令和自民クラブ<br>永井照人 | 1　（通称）はり湖山の整備計画について<br>2　ぐるっとむこうバス運行１年を振り返って<br>3　農業ボランティア活用の提案について<br>4　子ども宅食について |
| 2 | 公明党議員団<br>長尾美矢子 | 1　防災、減災について<br>2　子ども宅食の取り組みについて<br>3　相談事業の充実について |
| 3 | ＭＵＫＯクラブ<br>和島一行 | 1　コロナワクチン接種について<br>2　中垣内交差点東側の道路について |
| 4 | 令和新政クラブ<br>小野哲 | 1　ポストコロナ社会を見据えた行政の取組みについて<br>2　デジタルデトックスについて<br>3　上植野地区における通過車両対策について |
| 5 | 日本共産党議員団<br>山田千枝子 | 1　コロナ禍での市事業者独自策及び PCR 検査補助・ワクチン接種などについて<br>2　こども宅食及びこども食堂等の補助について<br>3　阪急洛西口駅西地区まちづくりは住民の声を聞くことについて |
| 6 | 飛鳥井佳子 | 1　コロナ禍の貧困から子どもを守るため「子どもアドボカシー」機関の設置を！<br>2　再び「空き家条例」について<br>3　コロナ差別禁止条例の制定を！<br>4　養育費不払いのひとり親家族の支援制度をつくることについて<br>5　読解力の育成を阻み、学力の低下を招くデジタル教科書について<br>6　向日消防署跡地を市営駐車場にすることについて |
| 7 | 公明党議員団<br>福田正人 | 1　脱炭素社会の推進について<br>2　本市の魅力ある商品の開発について |
| 8 | 日本共産党議員団<br>丹野直次 | 1　新型コロナ禍の財政運営について<br>2　会計年度任用職員正職員化の必要性について<br>3　新庁舎のコロナ対策について<br>4　路線バス減便を回復させる市の対応について<br>5　地域の要望について（公園整備と歩行者の交通安全） |

| | | |
|---|---|---|
| ９ | 杉　谷　伸　夫 | １　気候非常事態宣言を行い、地球温暖化対策に全力を！<br>２　高齢者・障がい者・子育て支援の従事者すべてにＰＣＲ検査を<br>３　職員のこころの健康を支える取り組みの強化を求める |
| １０ | 日本共産党議員団<br>北　林　智　子 | １　保育行政について<br>２　障がい者福祉について<br>３　火災から高齢者の命と財産を守ることについて |
| １１ | 村　田　光　隆 | １　災害弱者避難個別計画策定について<br>２　火災など災害で家を失った市民への支援について<br>３　ワクチンの接種について |
| １２ | 日本共産党議員団<br>佐　藤　新　一 | １　市民参加のごみの減量化について<br>２　都市計画道路牛ケ瀬勝竜寺線について<br>３　アスベスト対策について |
| １３ | 日本共産党議員団<br>常　盤　ゆかり | １　向日が丘支援学校改築計画について<br>２　特別支援教育の充実について<br>３　コロナ禍での支援について |
| １４ | 日本共産党議員団<br>米　重　健　男 | １　ＪＲ向日町駅東側再開発事業について<br>２　森本東部地区開発について<br>３　地方自治体のデジタル化について<br>４　水道について |

傍聴者　配布資料

# 一般質問通告書（総括）

| 質問者氏名 | 永井　照人 | 所属会派名 | 令和自民クラブ |
|---|---|---|---|

| 表題 | 質問事項（質問の要旨） |
|---|---|
| １．<br><br>（通称）はり湖山の整備計画について | はり湖山の今後の整備はどの部署が主体で行っていくのか？<br><br>台風被害等により荒れている山の再生が急務と考えるがいかがか？ |
| ２．<br><br>ぐるっとむこうバス１年を振り返って | 低迷が続くぐるっとむこうバス運行にあたり、運行に携わったメンバーが国・事業者・市それぞれの役割を把握していたか？<br><br>地域公共交通運行にあたり 5 つの鉄則を実行してきたか？ |
| ３．<br><br>農業ボランティア活用の提案について | 本市の農業継続にあたり、農業ボランティアを活用してみては？ |
| ４．<br><br>子ども宅食について | 国の第 2 次補正で子ども宅食を実施している団体などに補助金が用意されたが、向日市の活用状況は？ |

傍聴者　配布資料

傍聴者　配布資料

# 一般質問通告書（総括）

| 質問者氏名 | 長尾　美矢子 | 所属会派名 | 公明党議員団 |
|---|---|---|---|

| 表題 | 質問事項（質問の要旨） |
|---|---|
| １、防災、減災について | １）①　火災予防についての取り組み、住宅用火災警報器の取り付け状況、啓発について<br>１）②　住宅用消火器など、住宅用防災機器の普及促進について<br>１）③　消火栓の位置の周知や消火栓を用いた訓練について<br>１）④　火災予防への女性の活用について<br>２）「気象防災アドバイザー」の活用について<br>３）防災士資格取得の助成について<br>４）避難所開設キットについて |
| ２、子ども宅食の取り組みについて | ①　事業の進捗状況について<br>②　本予算に計上されなかった理由について |
| ３、相談事業の充実について | ①　コロナ禍での相談、問い合わせの現状について<br>②　ダイヤルインの状況、電話での相談の状況について<br>③　相談室での対面の相談について<br>④　メールやラインなどオンラインでの相談について |

傍聴者　配布資料

傍聴者　配布資料

# 一般質問通告書（総括）

| 質問者氏名 | 和島　一行 | 所属会派名 | ＭＵＫＯクラブ |
|---|---|---|---|

| 表題 | 質問事項（質問の要旨） |
|---|---|
| １．コロナワクチン接種について | ① 新型コロナウィルスワクチンは任意接種と理解している。国・自治体には定期接種Ａ類のような勧奨義務はないという理解でいいのか。<br><br>② ワクチン接種に伴うリスクを、医学的知識のない方々へどのように告知し、受ける/受けない　の判断材料をどのように提供するのか。<br><br>③ 職場や周りの方などに接種を強制したり、接種を受けない人に差別的な扱いをすることのないよう啓発の取り組みはされるのかを伺う。<br><br>④ 特定非営利活動法人コンシューマーネット・ジャパンによると既存の予防接種ではワクチン未接種の子どもが私立幼稚園から入園拒否があった事例を紹介しています。発生した場合の対応についてもご見解を伺う。 |
| ２．中垣内交差点東側の道路について | 中垣内交差点の東側の道路のグリーンベルトの本来の意味がなくなっていることについて伺う。<br>本来グリーンベルトとは、歩道が整備されていない道路の路側帯を緑色に着色して、車のドライバーに通学路であることを視覚的に認識させ、車両の速度を抑制させるとともに、通行帯を明確にすることで、児童、歩行者との接触事故を防ぐことを目的としている。　この道路のグリーンベルトは全く本来の役割を果たしていない。中垣内交差点の東行きは進入禁止にし、西行き一方通行にした方が安全である。市の見解を伺う。 |

傍聴者　配布資料

傍聴者　配布資料

# 一般質問通告書（総括・分割）

| 質問者氏名 | 小野　哲 | 所属会派名 | 令和　新政クラブ |
|---|---|---|---|

| 表題 | 質問事項（質問の要旨） |
|---|---|
| 1.ポストコロナ社会を見据えた行政の取組みについて | ① 新型コロナウィルス感染症対応地方創生臨時交付金の額について<br>② 新しい生活様式等への対応分にあたる実施計画の内容と額について<br>③ 今年度末の本市職員の退職者数及び新採職員の数および定員管理について<br>④ 長期休職者数と本市一般財源から支払われている手当の総額及び対策について<br>⑤ 本市におけるデジタル化基本計画を作成することについて |
| 2.デジタルデトックスについて | ① 本市における小中学生におけるネット・SNS利用の状況について<br>② ネット・SNSの長時間使用環境が及ぼす身体的影響に対する認識について<br>③ 戸外での適度な運動がデジタルデトックスに有効であるとされているが、その取り組みについて |
| 3.上植野地区における通過車両対策について | ① 上植野地区住宅地内を通勤時に通過する車両の状況への認識について<br>② 上植野中筋通りJR下の隧道の補修について<br>③ 平成26年本市では、ゾーン３０による安全対策を実施しているが、その効果について<br>④ 令和元年第4回定例会後のその後の協議の進捗状況と今後の計画について |

傍聴者　配布資料

傍聴者　配付資料

# 一般質問通告書（総括）

| 質問者氏名 | 山田千枝子 | 所属会派名 | 日本共産党 |
|---|---|---|---|

| 表題 | 質問事項（質問の要旨） |
|---|---|
| １、コロナ禍での市事業者独自策及び PCR 検査補助・ワクチン接種などについて | 二度目の緊急事態宣言が発出され、市民のコロナ不安、生活や暮らし、営業、雇用や賃金の減少、ひとり親家庭の生活苦などたくさんの相談が寄せられています。私ども党市議団は「向日市商工会」や市内の事業所を訪問し、色んな声を聞いてきました。共通することは以前のように元気にお仕事をして地域に活気を戻したまちづくりをしていきたいことです。１、国や府に対して営業時間短縮要請の事業者協力金を一律一日最大６万円ではなく事業規模に応じて出すこと。障がい者施設等を含む持続化給付金と家賃支援給付金を再度出すこと。生活困窮者に新たな給付金制度をつくることなど国や府に求めて頂きたい。２、国や府の助成対象にならない個人事業主に１人１０万円の市助成金の申請期間の延長及びこの費用の見込みが減っているとしたら、生活困窮者に回して頂きたいがどうか。<br>ワクチン接種と感染対策は同時並行で行うことが大切です。４、市のワクチン対策本部体制と市の相談窓口について５、PCR 検査費用を公費で全額補助することについてどうか。６、広報臨時号を節目に配布して頂きたいがどうか。 |
| ２、こども宅食及びこども食堂等の補助について | 新型コロナによる子育て家庭の生活環境の悪化など困難を抱える家庭の虐待リスクが高まっています。子どもの見守りを強化するため、自宅を訪問し、食品配送などを通じて支援する子ども宅食予算が昨年の１２月議会で組まれました。 |

| | |
|---|---|
| | 全額国庫負担で、１民間団体当たり約８３０万円となっていて対象世帯も自治体が柔軟に決められます。先日、こども宅食の「向日市支援対象児童等見守り強化事業補助金交付要綱」頂きました。１、未だ数ヶ月しか経過していませんが、現在補助している団体のこの間の見守りの効果と「向日市要保護児童対策ネットワーク協議会」との連携についてどのようになっているのでしょう。個人情報保護について団体への連絡もどうでしようか。また「市要綱」に適したら、新規団体の参入も可能なのでしようか。２、子ども食堂をされたり、今後される団体についても市補助金交付はできるのでしようか。３、虐待解消のための対策についてどうでしようか。 |
| ３、阪急洛西口駅西地区まちづくりは住民の声を聞くことについて | １月１４日、「阪急洛西口西地区のまちづくりに係る都市計画」の「まちづくり審議会」が開催されました。１、コロナ禍ですが、傍聴席をせめて１０席は増やし、当日参加の傍聴者には資料を渡して頂きたいがどうでしようか。審議会での意見には「プランでは交流ゾーンとあるが誰と誰が、何が交流するのかよくわからない。みんながここに来たくなるとか、市民に魅力あるものとなるのか」「駅から見える山並みがきれいだった。そういう事も含めて景観を考えることが大切」などなどたくさん出て、付帯意見をつけることになりました。２、まちづくり審議会での付帯意見を市は反映されるのでしようか。３、開発による企業や内容は開発業者が決めるのでしようか。市と開発業者、市とまちづくり協議会はどのようにまちづくりを検討するのでしようか。４、近隣住民の方々との話し合いや鉄塔移設などについて市はどのように聞いているのでしようか。 |

傍聴者　配布資料

# 一般質問通告書（総括）

| 質問者氏名 | 飛鳥井佳子 | 所属会派名 | 会派に属さない議員 |
|---|---|---|---|

| 表題 | 質問事項（質問の要旨） |
|---|---|
| １．<br>コロナ禍の貧困から子どもを守るため「子どもアドボカシー」機関の設置を！ | 17 年に厚労省の「新しい社会的養育ビジョン」に 5 年以内にアドボケイト事業を実現することが明記され、国連から日本は、子どもの権利が尊重されていないことに対し緊急の措置が必要な国とされている。DV やネグレクトによる児童虐待が相次いでおり、向日市は一刻も早く人材を配置し制度をつくるべきであるが市長のご所見を伺う。 |
| ２．<br>再び「空き家条例」について | 以前、一般質問でこの「空き家条例」の福祉施策への活用についてお願いをさせていただき、「第２期向日市地域福祉計画にのっとり、住宅の確保が困難な高齢者障がいのある方、所得の少ない方などの特別な配慮が必要とされる方を救う施策としても重要であり、検討し推進していく。」とのご答弁がありました。<br>現在、パブリックコメントを実施していただいておりますので、このコロナ禍ですので、ハウジングプアに泣く方々を救う施策として、この条例に福祉の視点を入れていただけるのかどうか、お伺い致します。 |
| ３．<br>コロナ差別禁止条例の制定を！ | 新型コロナウイルスの感染者に対して偏見による中傷で心理面での二次被害のないようにと明石市で制定されたコロナ差別禁止条例を向日市でもとりくんでほしいがどうか。 |

| | |
|---|---|
| ４．<br>養育費不払いのひとり親家族の支援制度をつくることについて。 | 滋賀県湖南市は、大阪市や明石市のように離婚相手から受け取るはずの養育費が滞っているひとり親家庭を支援するための養育費の受け取りを保証する支援制度を実施しています。厚労省の調査では養育費を受け取っている母子家庭はわずか２割にとどまっており、子どもの貧困対策の拡充のため、向日市でも実施してほしいがどうか？ |
| ５．<br>読解力の育成を阻み、学力の低下を招くデジタル教科書について | 今、中学生の半数以上が教科書を読んでも理解できない状態で卒業しているといわれるなか、デジタル教科書によって学習スキルが低下し、学力格差がますます広がる懸念があります。地方自治体にも多大な費用負担を強いるデジタル教科書の使用について慎重にしてほしいがどうか？<br>また図書館に学習スペースを作り、子どもの居場所づくりを要請したいがどうか？ |
| ６．<br>向日消防署跡地を市営駐車場にすることについて | 市役所新庁舎、市民会館等に多くの方が来ていただけるよう、消防署跡地をこれまでどおり借地して市営駐車場として利用させていただくよう府に要請していただきたいがどうか？ |

傍聴者　配布資料

# 一般質問通告書（総括）

| 質問者氏名 | 福田　正人 | 所属会派名 | 公明党議員団 |
|---|---|---|---|

| 表題 | 質問事項（質問の要旨） |
|---|---|
| １．　脱炭素社会の推進について | ① 本市の「地球温暖化対策実行計画」において温室効果ガス削減の状況を伺う。<br>② 菅総理の「2050 年脱炭素社会の実現を目指す宣言」に対しての本市の所見を伺う。<br>③ 現在、温室効果ガス排出実質ゼロを宣言した都道府県は京都府を含む３３、市区町村は２４８、府内では５市２町が宣言しているが、本市の宣言発出の考えを伺う。<br>④ 脱炭素社会の実現へ向けた、京都市や周辺自治体との広域連携を含めた戦略が必要と考えるが如何か。 |
| ２．　本市の魅力ある商品の開発について | ① 本市の特産・名産・土産品開発のための生産者の意欲を高める支援策を拡充する考えはあるのか。<br>② 歴まちロゴマークや本市のマスコットキャラクター（タケ・ノコ・リン）をあしらったタオルやＴシャツ、帽子などの商品開発を民間事業者と協力し商品化されては如何か。<br>③ 更に、向日市らしいユニークな商品開発のために、中高生からアイデアを募集しては如何か。<br>④ スマートインター開設は観光客招致には欠かせないと考える。粘り強く交渉して頂きたいが、如何か。 |

傍聴者　配布資料

傍聴者　配布資料

# 一般質問通告書（総括・~~分割~~）

| 質問者氏名 | 丹野　直次 | 所属会派名 | 日本共産党議員団 |
|---|---|---|---|

| 表題 | 質問事項（質問の要旨） |
|---|---|
| 1、新型コロナ禍の財政運営について | ①　２０２０年度歳入の市民税、固定資産税減収影響額の見込み額は。納税猶予などの状況は。<br>②地方消費税交付金は 10 億 6200 万円計上していましたが、消費の落ち込みで本市影響額は。<br>2、財政調整基金、各種基金積立金の総額と残金は。<br>3、消費税は国会で減額できる付帯決議があります。５％にすべきです。世界の５２の国々では消費税を廃止又は大幅減税をしています。市長の見解は。 |
| 2、会計年度任用職員正職員化の必要性について | ①　必要性について見解を伺います。②４月からの採用人数は。現在雇用されている人数、年齢構成は。<br>**②　向日市は、給与と地域手当、通勤手当他病気、忌引き、夏期、育児休暇など各種手当てが支給されていますが、更なる処遇改善を。**<br>**2、会計年度任用職員の募集から採用に至る経過の透明性を計ること。**<br>20 年度中において、追加募集されていました。前回採用されなかったので担当課に行って理由をお尋ねしたら、「条件に合わなかった」と言われた。納得できないと思っています。<br>選考に関しての基準を明確にすべきだと考えます。募集要項から選考過程と面接、採用決定、そうした情報公開をすること。 |
| 3 新庁舎のコロナ対策について | 1、　３密を避けることについて①　新庁舎１・２階公務職場などでの快適なスペースはひとりあたり 2、２㎡以上と言われています。職員などの実数から計算した面積ではひとりあたり面積はいくらですか。各部課の状況（１階２階）は。 |

| | |
|---|---|
| | ２、　関係法令の基準は照らしてどうか。<br>３、　職員からの意見は。<br><br>２、　市民からの窓口対応などにカウンターの仕切り板はいるのではないでしょうか。 |
| 4、路線バス減便を回復させる市の対応について | 1、市は、請願が採択されて、　どう受け止めているのか。住民の足の確保のため、これ以上不便にならないよう具体的手立てをするための事業支援は。<br>２、市は住民の交通手段改善のために「向日市地域公共交通会議」の主体的な方針提示をすべき。<br>コミバスの事業実績と４月からの予算と市民の利用状況は。 |
| 5、地域の要望について<br>(公園整備と歩行者の交通安全) | 1、ハリ湖池の改修と仮称「五塚原古墳公園」の整備は。関連して、ハリ湖池から大池の堤体回りの市道 2104 号線の防犯・安全対策は。<br><br>2、市道６０９８号と６０１０号線（約６０㍍）間の歩行者安全対策について<br>府道西京高槻線交差部分には歩道がありません。改修するように　と地域住民から要望されています。<br>当面別の方法として、例えば路側帯やカラーゾーンなどが必要と考えますが対応を求めます。<br><br>３、同箇所の交差点の西向きの交通信号機について感応式信号機があります。市として関係機関と　協議し調査、改善を求めるように要請します。 |

# 一般質問通告書（総括質問・~~分割質問~~）

| 質問者氏名 | 杉谷　伸夫 | 所属会派名 | 会派に属さない議員 |
|---|---|---|---|

| 表題 | 質問事項（質問の要旨） |
|---|---|
| １．**気候非常事態宣言を行い、地球温暖化対策に全力を！** | 本市は来年度、１０年ぶりに環境基本計画の改訂を行うが、１０年前と比べ地球環境のおかれている状況が根本的に変化した。これからの１０年が人類の未来を左右すると言われる。環境基本計画策定を機に、気候非常事態宣言を行い、地球温暖化対策に市民とともに全力で取り組むことについて問う。<br><br>（１）全国の自治体で「気候非常事態宣言」が広がり、国会でも「気候非常事態宣言」が採択された。本市も「気候非常事態宣言」をおこない、市民に発信することが大切ではないか。<br>（２）これからの１０年は人類の未来を左右する１０年だ。この時期に策定する環境基本計画、地球温暖化対策実行計画をどのような位置づけ、体制で取り組むか。<br>（３）地球温暖化防止にむけた本市の取り組みについて、検証可能な目標の設定が必要だが、どう考えるか。 |
| ２．**高齢者・障がい者・子育て支援の従事者すべてにＰＣＲ検査を** | 新型コロナワクチンの先行接種が始まったが、ワクチン頼みでなく継続した感染防止対策が重要だ。少なくとも身体接触が避けられない高齢者・障がい者・子育て支援の従事者に対するＰＣＲ検査を実施することが必要ではないか。<br><br>（１）ワクチン接種にあたって強制があってはならない<br>①ワクチンに対する正確な情報を基に、市民が自らの意思で接種するかどうかを決めることを、本市としても機会あるごとに市民に伝えて頂きたいがどうか。<br>②こうした市民の相談に応じる態勢をつくって頂きたいがどうか。 |

| | |
|---|---|
| | （２）感染防止対策が重要。その要は社会的検査の拡充だ<br>①本市にある高齢者施設・障がい者施設の従事者への京都府によるＰＣＲ検査は、どのような現状か？<br>②無症状者への社会的検査の重要性について、本市の考えはどうか？<br>③京都府と連携して、または本市独自で、身体接触が避けられない高齢者・障がい者支援、更に子育て支援の従事者に対するＰＣＲ検査を実施するべきではないか？ |
| ３．**職員のこころの健康を支える取り組みの強化を求める** | 本市では、一昨年の本市生活保護行政に関わる事件を契機に、職員が一人で困難を抱え込まず、組織で対応できる体制づくりに取り組んできた。また合わせて、職員のこころの健康（メンタルヘルス）を支える体制も問われてきたことから、取り組みの現状と今後について聞く。<br><br>（１）自己申告書制度の運用変更について<br>①制度の変更の趣旨は、職員に丁寧に説明されているか。<br>②自己申告書の提出状況に、どのような変化があったか。<br>③上司への不満など思ったことを書けないとの声も聞いているが、職員の声はどうか。<br>④人事課への直接相談は、何件あったか。<br><br>（２）職員のこころの健康に関する相談について<br>①メンタルの原因による休職者が増えているようだが、Ｈ２９年度以降の各年度の休職者は何人か。<br>②産業医による面談や精神保健指定医による「こころの相談」など、年間どの程度の相談があるか？また職場におけるセクハラ、パワハラに関する相談の状況は？<br>③日常の困ったときに気軽に相談できる、風通しの良い職場づくりにむけて取り組んでいることについて。<br><br>（３）衛生委員会の強化について<br>①労働安全衛生管理規則に従えば、本市には何人の衛生管理者の配置が必要か。今後どう対応する考えか。<br>②法令に適合した衛生管理者の配置、衛生委員会の開催を制度的に保障するために、本市の職員衛生管理規則の改訂を行う必要はないか。 |

# 一般質問通告書（総括・分割）

| 質問者氏名 | 北 林 智 子 | 所属会派名 | 日本共産党議員団 |
|---|---|---|---|

| 表題 | 質問事項（質問の要旨） |
|---|---|
| １．保育行政について | １．コロナ禍における保育所の現状について。<br>①発熱、濃厚接触者、感染者が発生した場合のガンドラインはできているのか。<br>②保育士の通常保育以上に仕事量が増大していますが、負担軽減をどのように進めているのか。<br>③緊急事態宣言中における日々の出席状況と、家庭保育に協力された家庭への保育料を日割り還元できないのりか。<br>２．子どもの発達保障をすることについて問う。<br>３．保育士の増員について問う。<br>４．令和３年度の保育行政の状況について<br>５．公立保育所の保育士確保・定着について問う。<br>６，第３保育所跡地の活用計画の進捗状況を問う。 |
| ２．障がい者福祉について | １．１人も取り残さないための障がい児・者福祉について<br>①重度の肢体不自由な障がいをもつ子どもを通園しやすい乙訓圏内をつくる、公立保育所の障がい児の入所を増やすなどの対策の検討について問う。<br>②障がい児が親亡きあとの援助を受けながら自立ができるグループホームを設置するなど積極的改善策と障がい者福祉計画に盛り込むことを問う。<br>③発達障がいの子どもの放課後の居場所づくりのための放課後等のデイサービスの利用条件の緩和のため、個々の事情により、申請要件の緩和や保護者や子どもの申請時の援助などで利用しやすい制度ができないのかを問う。 |
| ３．火災から高齢者の命と財産を守ることについて | ①高齢者のご家庭で火災が発生しやすい状況を踏まえ、予算をきっちりつけて、防火対応のリフォーム |

| | |
|---|---|
| | 助成、防火品の購入補助など効果的に制度の強化、拡充を早急に行うことについて問う。<br>②住宅用火災警報器の設置の徹底や取り付けへの支援を行うことについて<br>③自治会での消火訓練の参加促進の為に紙媒体も使って啓蒙活動を強化するなど、市民のみなさんと共に、改めて、防火への意識を高める機会を増やして頂くことについて問う。 |

傍聴者　配布資料

# 一般質問通告書（総括）

| 質問者氏名 | 村田光隆 | 所属会派名 | 会派に属さない議員 |
|---|---|---|---|

| 表題 | 質問事項（質問の要旨） |
|---|---|
| １．災害弱者避難個別計画策定について。 | 本市では、災害時避難行動要支援者名簿への登録を進めているが、個別計画の策定には至っていない。<br>計画策定に向けた取り組みを伺う。 |
| ２．火災など災害で家を失った市民への支援について。 | 本市では昨年末から火災が相次いでいる。<br>市として被災者への支援をどこまでできるのか、意見を伺う。 |
| ３．　ワクチンの接種について。 | ワクチンの接種について最新情報を伺う。 |

傍聴者　配布資料

傍聴者　配布資料

# 一般質問通告書（分割）

| 質問者氏名 | 佐藤　新一 | 所属会派名 | 日本共産党議員団 |
|---|---|---|---|

| 表題 | 質問事項（質問の要旨） |
|---|---|
| １．　市民参加のごみの減量化について | 向日市のごみ減量化計画は平成２９年３月３１日に一般廃棄物処理実施計画を作成。その後の経過は、平成３０年１１月１２日向日市廃棄物減量等推進審議会に諮問。翌年令和元年７月１６日答申を受けました。審議会はごみ減量を推進するための方策として具体的なテーマとして「ごみ袋について」「古紙回収について」「分別回収ステーションについて」と定めました。答申を受けて向日市は令和２年９月「指定ごみ袋制度導入についての基本方針」（案）を作成。そして基本方針案に対する意見公募（パブリックコメント）を９月３０日～１０月２９日まで取り組み５９人から１２４件の意見が寄せられました。<br>質問１）答申を受けて実行に移しているのはごみ袋の見直しだけ。しかも、基本方針案がいつ実施計画になったのか。<br>質問２）不適正ごみは重量比で３０％の混入。その内、古紙が１６％その他プラスチック７％。この２つをなくすことで大幅なごみの減量につながる。向日市は指定ごみ袋を導入すれば減量につながると考えているようだが、学者・研究者の報告には資源ごみの回収を増やすことが最良の方法とあるがどのように考えるか。<br>質問３）パブリックコメントにもあるように市民の意見を尊重すべきですが全くといって反映されていませんがなぜか。「市民を信頼すれば、もっといい知恵が出てくる」など積極的な提案がされています。民主的な運営をするべき。 |
| ２．　都市計画道路牛ケ瀬勝竜寺線について | 向日市の「都市計画道路見直しネットワーク構想案」によると牛ケ瀬勝竜寺線はＪＲ向日町駅東口に計画されている駅前広場へのアクセス道路として存続。なお、存続ストックの有効活用を図りつつ、一部区間について線形見直しを検討するとなっています。<br>質問１）長岡京市は２０２１年度中に計画変更・廃止 |

| | |
|---|---|
| | するとなっていますがこれに伴う向日市の影響などないのか、考えを問う。<br>質問２）牛ケ瀬勝竜寺線が今後向日上鳥羽線と接続するが、車両の通行量が増えることが予想されるが、牛ケ瀬勝竜寺線は市道０００４号線でもあり通学路でもあります。歩道の確保等の安全対策を。<br>質問３）同じように東洋ライト工場の東北角の歩道がくの字に折れて狭くなって見通しがききません。安全対策を講じる必要がある。 |
| ３．　アスベスト対策について | 旧本庁舎の解体が始まっているが、アスベストが使用されており、解体に伴うアスベスト対策を。<br>質問１）京都府に届出を行い、アスベスト飛散防止のための作業基準、労働安全衛生法や廃棄物処理法を遵守されているか。<br>質問２）解体時に飛散防止マニュアルを遵守し間違っても近隣住民、来庁者、関係労働者、市職員が吸い込むことがないように十分な対策を。<br>質問３）市民への周知はどのようにされているか。 |

傍聴者　配布資料

# 一般質問通告書（総括）

| 質問者氏名 | 常盤ゆかり | 所属会派名 | 日本共産党議員団 |
|---|---|---|---|

| 表題 | 質問事項（質問の要旨） |
|---|---|
| １，向日が丘支援学校の改築計画について | １，向日が丘支援学校の改築工事基本設計図では、これまでの「寄宿舎」がなくなり「生活実習室」「生活訓練室」となっている。目的と使用形態について聞く。<br>２，中央教育審議会の答申では「特別支援学校の寄宿舎については、特別支援教育における教育的意義も踏まえ引き続きその機能の維持に努めるべきである」となっている。寄宿舎の存在について改めて市の見解を聞く。<br>３，向日が丘支援学校の改築計画基本構想の整備について、市としてどのような機能を求めてこられたのか。<br>４，改築と同時に長岡京市共生型福祉構想が計画されている。計画内容と今後の向日市の関わりについて聞く。<br>５，改築計画について保護者・教職員（寄宿舎指導員含む）へ説明会を開くよう府へ求めていただくこと。<br>６，障がいのある児童のゆたかで安全な放課後のために、府に対して向日が丘支援学校内へ放課後児童クラブの設置を求めていただきたい。 |
| ２，特別支援教育の充実について | １，中教審答申では、「障害のある児童生徒が支障なく学ぶことが出来るよう学校のバリアフリーの推進が重要である」とされているが、今後市の小中学校改築計画を進める中において、新築等以外の整備についてバリアフリー化を念頭にしたものになっているか。<br>２，特別支援教育の学級編成では、支援学校の小中学部は６人１学級（重度障害学級は３人１学級）、支援学級では８人１学級となっている。<br>１クラスの人数を減らし、一人一人にあった対応を進めること。また、支援員の時間数と人員を増やすことについての見解を聞く。 |

傍聴者　配布資料

| | |
|---|---|
| ３，コロナ禍での支援について | １，共産党議員団として市内幼稚園へ訪問し懇談をさせていただいた。コロナウィルス感染を抑えるために、園舎等の施設、玩具などの消毒作業に苦労されていることを伺った。小中学校では教職員の負担軽減策としてスクールサポーターの配置がされているが、幼稚園でのコロナ感染予防を行うための支援補助はできないか。<br>２，子どもに関わる職種（保育士、幼稚園教諭・職員、留守家庭指導員・教職員等々）の方々へのPCR検査補助について。 |

傍聴者　配布資料

# 一般質問通告書（総括・分割）

| 質問者氏名 | 米重　健男 | 所属会派名 | 日本共産党議員団 |
|---|---|---|---|

| 表題 | 質問事項（質問の要旨） |
|---|---|
| １、JR 向日町駅東側再開発事業について | 鉄道で東西に分断された市街地を結び交通結節点として複合的機能の集積で活性化が図られている。<br>１、事業の一時中断とコロナ対策へヒト・モノ・カネの集中について<br>ワクチン接種などがスケジュールに上がってきている。コロナ対策への人員、物資、財源の集中投入をする体制づくりを行うべきではないか、見解を伺う。<br>２、駅西側の活性化について<br>魅力とにぎわいある拠点とするために市として具体的な方策はどの様なものを検討しているか。<br>３、交通結節点としての機能について<br>周辺地域も含めた交通ターミナル機能を担うための方策としてどの様なものを検討しているか。<br>４、駅前活性化と本市の財政的負担について<br>駅前活性化で乗客数が増えれば JR 西日本が最も利益を享受する。応分の負担が必要と考える。<br>５、再開発ビルについて<br>タワーマンションは民間開発と同じで公民連携ではない。にぎわいづくりは市民の声に傾聴すべき。 |
| ２、森本東部地区開発について | 市民の理解を得るために適切な説明が求められていると考える。また、グローバルに展開する大企業として市民から地域との共存を期待する声もある。<br>１、歩行者の安全対策への取り組みと課題について<br>現状と今後の課題について伺う。<br>２、説明会と異なる工事手順の実施について<br>市民への説明が不足していると考えるがどうか。<br>３、調整池の運用について<br>排水の濁水処理はどうするのか。調整池完成前の工事エリアの雨水の濁水処理はどうするのか。住民への説明などはどの様にしているか伺う。<br>４、緑化の具体的な方法について<br>期待されている緑化は自然公園的な空間であるとお聞きしているが、どの様に把握しているか伺う。 |

| | |
|---|---|
| | ５、市民の提出された要望書について<br>　要望に応えて頂けるよう働きかけて頂きたい。<br>６、埋蔵文化財について<br>　公表時期や公表等の方法はどの様になるか伺う。 |
| ３、地方自治体のデジタル化について | 　新市庁舎の建設に併せてシステムの大幅な入れ替えが行われているが、今後の方向性はどうか。<br>１、DX における地方自治体の課題について<br>　国において推進されている DX について本市の認識と抱える課題について見解を伺う。<br>２、システムの更新、管理等の計画について<br>　定期的に多額の費用を要することから中長期的な計画について策定を行う必要があるが見解を伺う。<br>３、新庁舎建設後の変更点について<br>　どの様に市民の利便性が向上したか、また、今後の対応について伺う。<br>４、本庁舎と東向日別館での手続きの統合について<br>　本庁舎と東向日別館のどちらかのみで手続きが完結できることを目指すべきと考えるが見解を伺う。<br>５、オンライン手続きについて<br>　オンライン手続きの今後の方針について伺う。<br>６、デジタルディバイドへの対応について<br>　デジタルディバイド是正のための方針を伺う。 |
| ４、水道について | 　京都府営水道アセットマネジメント検討業務委託を行っており、その中で 2033 年度に物集女西浄水場を廃止するとした府水優先案を高評価としている。<br>１、京都府営水道アセットマネジメントについて<br>　京都府営水道アセットマネジメントについてどのような説明があったのか。<br>２、自己水確保、2 水源との矛盾について<br>　物集女西浄水場が廃止された場合、自己水及び 2 水源確保は不可能になると思われるが見解を伺う。<br>３、広域化に伴う水道事業への影響について<br>　料金体系・給水量等について決定権を失い自治体の事業としての独立性が損なわれるが見解を伺う。<br>４、公益性の確保について<br>　企業会計に導入による採算性重視の傾向とインフラ事業での公益性の確保について見解を伺う。<br>５、今後の水道料金の方向性<br>　コロナ禍の収まる気配無く市民は生活の負担は大きい。今後の水道料金の方向性について伺う。 |